

NetBeans で JavaScript と PHP の開発環境を構築する

内容

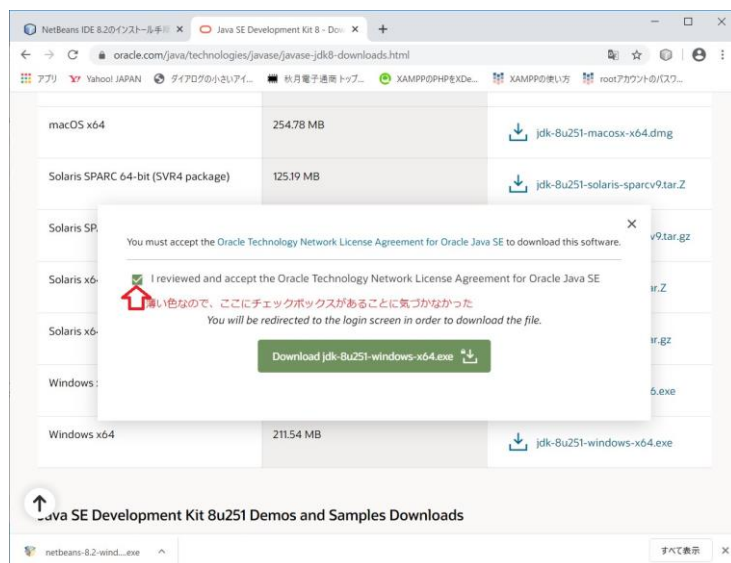
1. JDK.....	2
1.1 ダウンロード.....	2
1.2 インストール.....	2
1.3 環境変数の設定.....	4
2. Xdebug.....	11
2.1 ダウンロード.....	11
2.2 設定.....	11
3. Netbeans.....	12
3.1 ダウンロード.....	12
3.2 インストール.....	12
3.3 PHP プロジェクトの新規作成.....	16
3.4 PHP のデバッグ.....	18
3.5 JavaScript のプロジェクト新規作成.....	19
3.6 JavaScript のデバッグ.....	20

1. JDK

1.1 ダウンロード

下記のサイトで Windows の JDK をダウンロードします。JDK のバージョンは NetBeans8.2 に時期的に近い JDK8 を選びました。また、Linux で JDK8 を使うことがありましたが、特に不具合はありませんでした。

<https://www.oracle.com/java/technologies/javase/javase-jdk8-downloads.html>

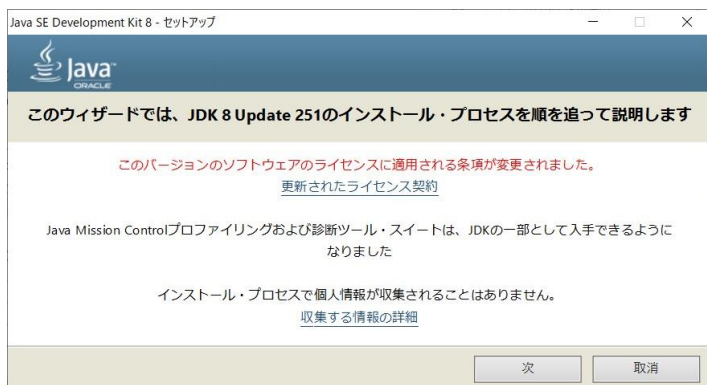


チェックボックスの色が薄すぎて見えませんでした。このチェックボックスをチェックしないとダウンロードできません。ご注意ください。

1.2 インストール

jdk-8u251-windows-x64.exe をダブルクリックします。

インストールが開始されます。



[次]をクリックします。



[次]をクリックします。



[次]をクリックします。インストールの状況が表示されます。



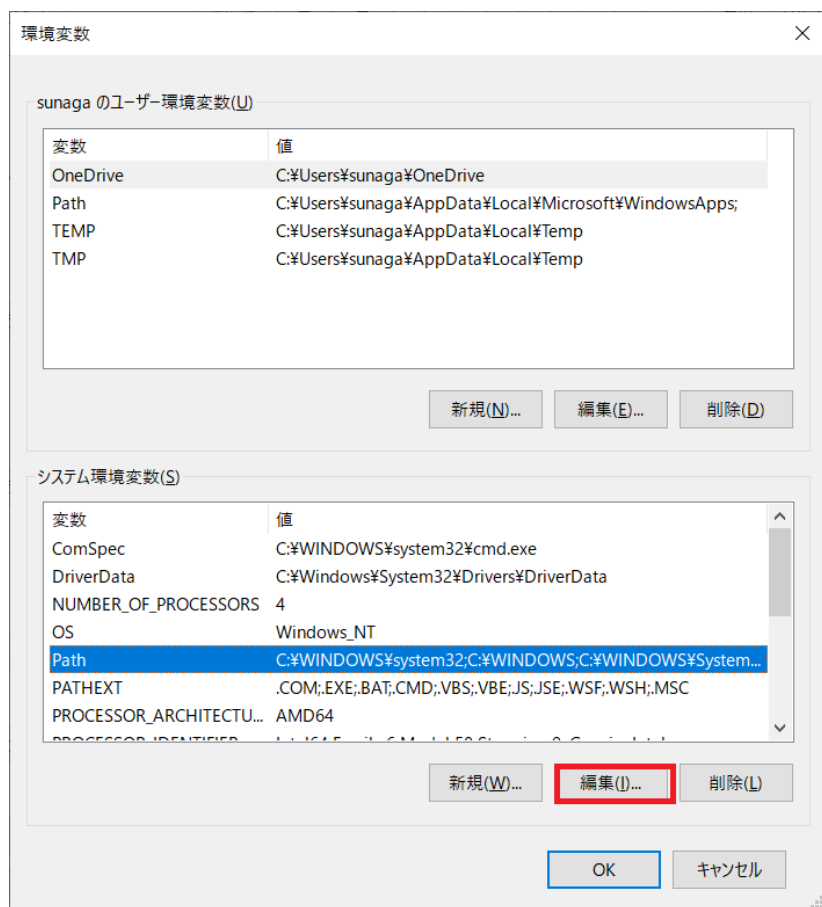
[閉じる]をクリックします。

1.3 環境変数の設定

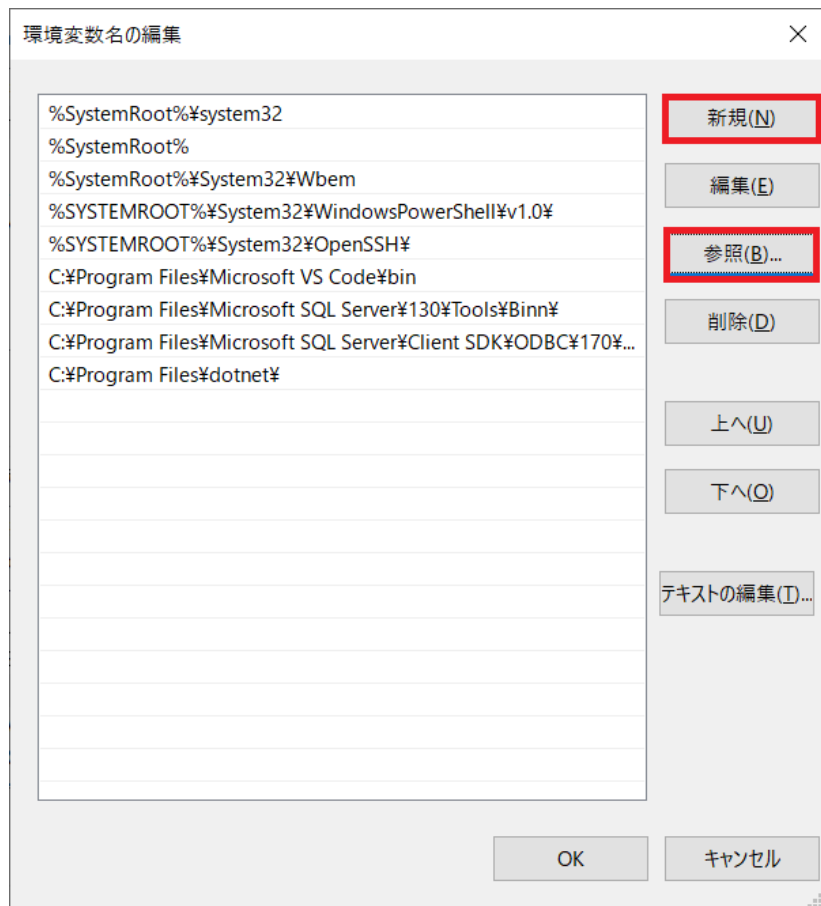
Windows の設定 -> システム -> バージョン情報 -> システム情報 -> システムの詳細設定



[環境変数]をクリックします。

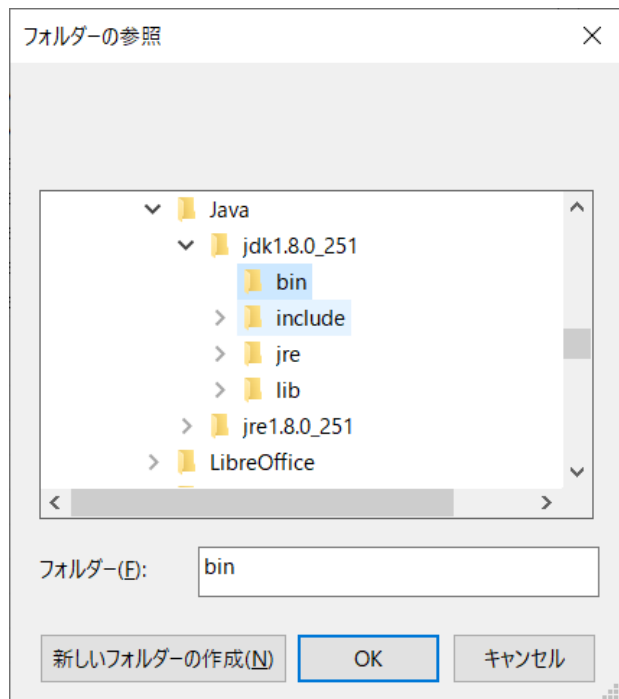


Path を選択して[編集]ボタンをクリックします。

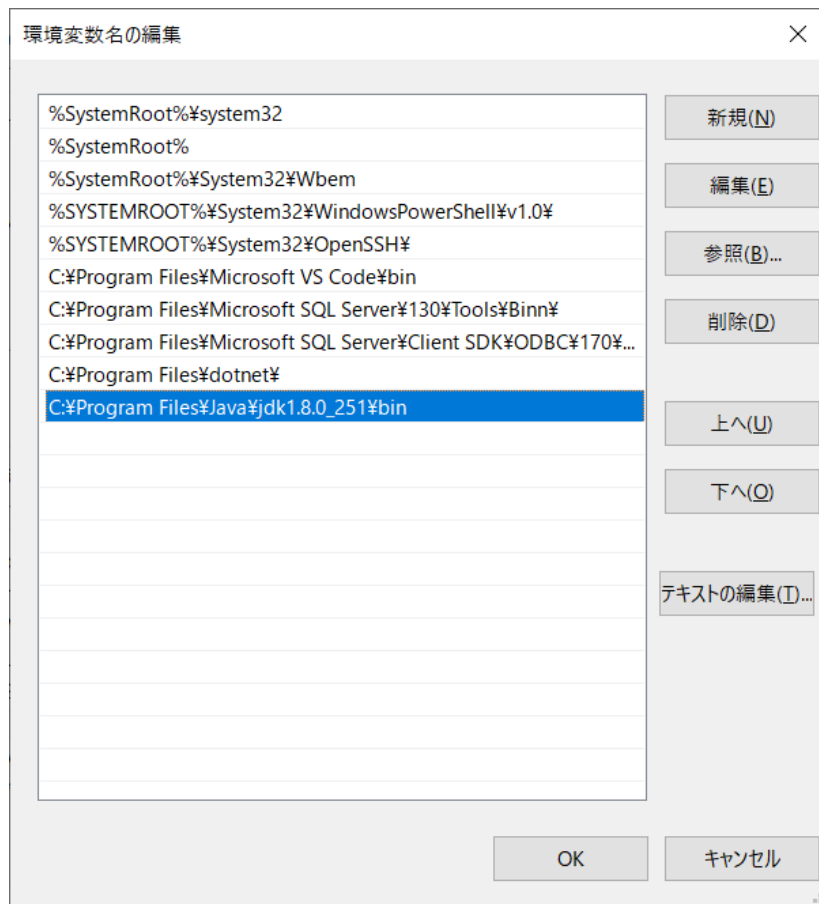


新規]ボタンをクリックします。

[参照]ボタンをクリックします。

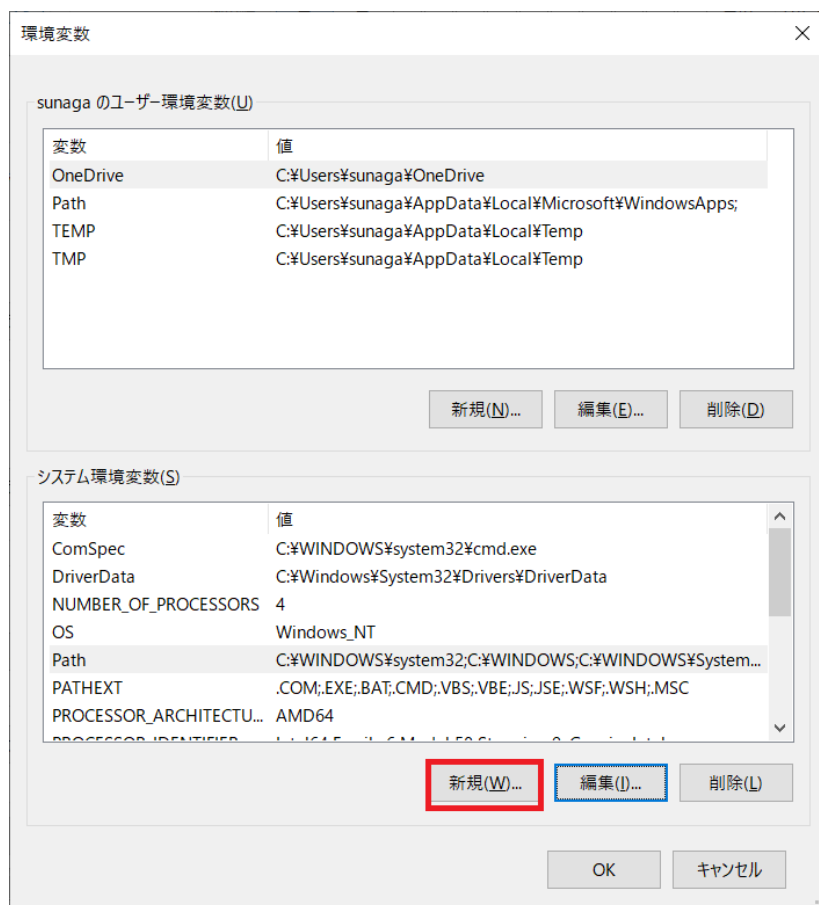


C:\Program Files\Java\jdk1.8.0_251\bin を指定します。
[OK]ボタンをクリックします。

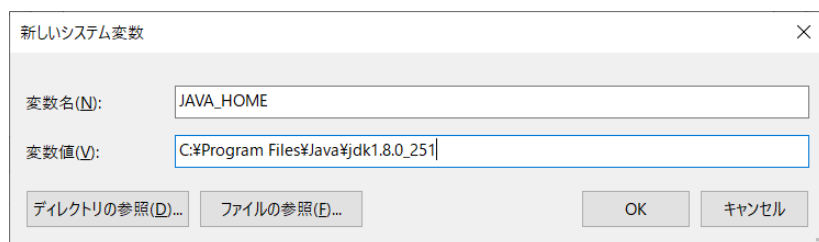


[OK]ボタンをクリックします。

JAVA_HOME の設定



[新規] ボタンをクリックします。



変数名: JAVA_HOME

変数値: JDK を収納したフォルダ(C:\Program Files\Java\jdk1.8.0_251)

[OK] ボタンをクリックします。

ユーザー環境変数のダイアログ画面に戻ります。

[OK] ボタンをクリックします。これで終わりです。

確認はコマンドプロンプトで、

java -version

java のバージョンが表示されます。

2. Xdebug

最初に公開した PDF では Xdebug の記述が抜けていました。抜けを追記します。Xdebug は php をデバッグするためのツールです。

2.1 ダウンロード

Xdebug で気を付けることは php のバージョンと Xdebug のバージョンの組み合わせがあります。

Zampp PHP version 7.4.6

Xdebug xdebug-2.9.6-7.4-vc15-x86_64.dll

この組み合わせで使っています。

上記以外のバージョンを使っている人はホームページで調べてください。

<https://xdebug.org/>

2.2 設定

- ① ダウンロードした dll を
C:\xampp\php\ext
にコピーします。
- ② C:\xampp\php\php.ini に Xdebug の設定を最後に追加します。

end_extension = C:\xampp\php\ext\php_xdebug-2.9.6-7.4-vc15-x86_64.dll

[xdebug]

xdebug.default_enable = 1

xdebug.idekey = "vscode"

xdebug.remote_enable = 1

xdebug.remote_port=9000

xdebug.remote_autostart=1

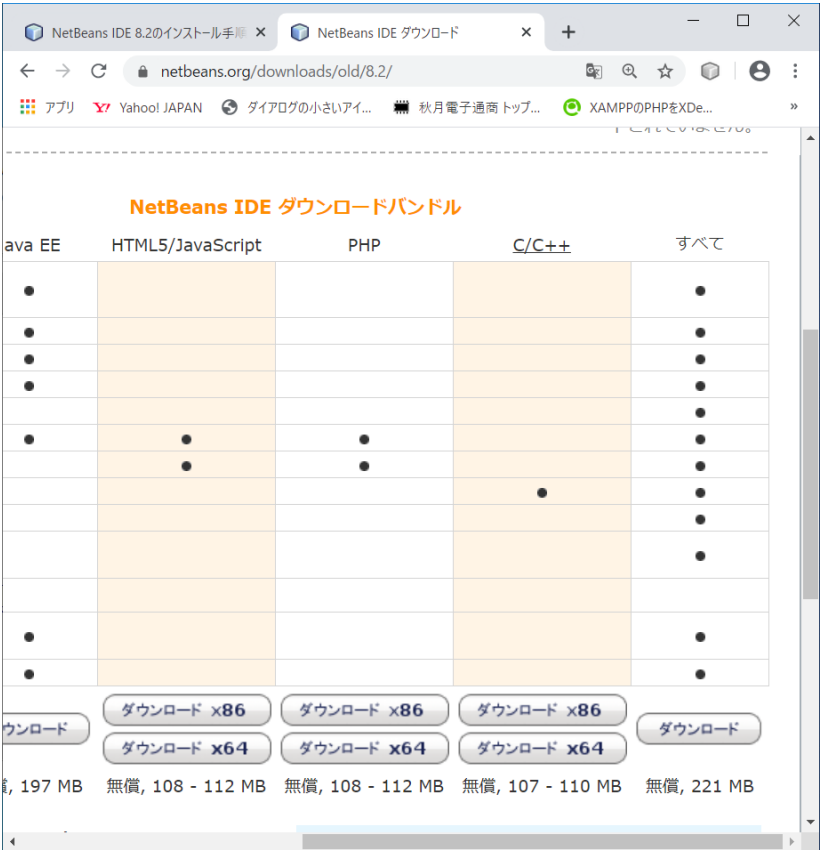
xdebug.idekey = netbeans-xdebug

end_extension はダウンロードしたファイル名です。

3. Netbeans

3.1 ダウンロード

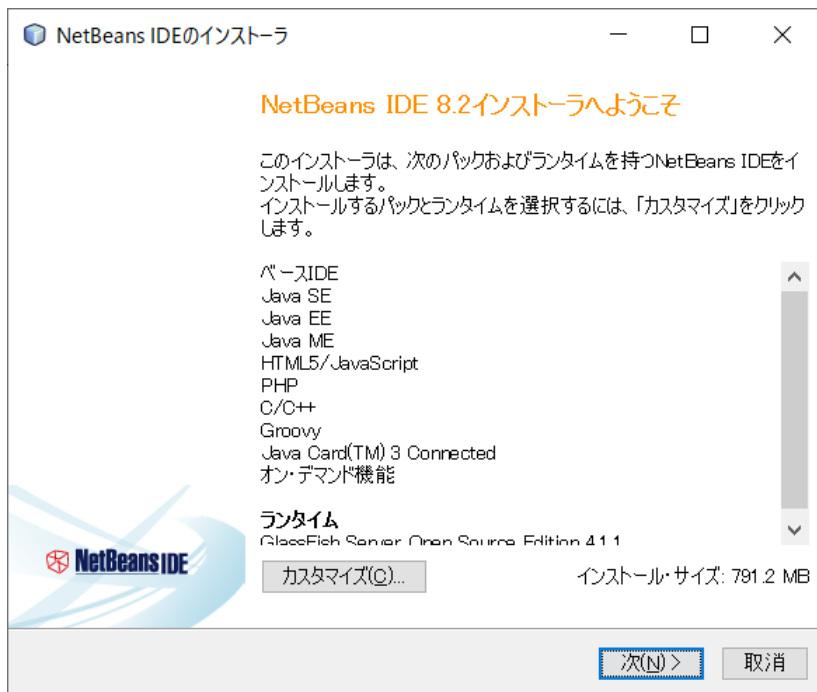
下記のサイトからダウンロードしてください。
下記のサイトからダウンロードしてください。
<https://netbeans.org/downloads/old/8.2/>



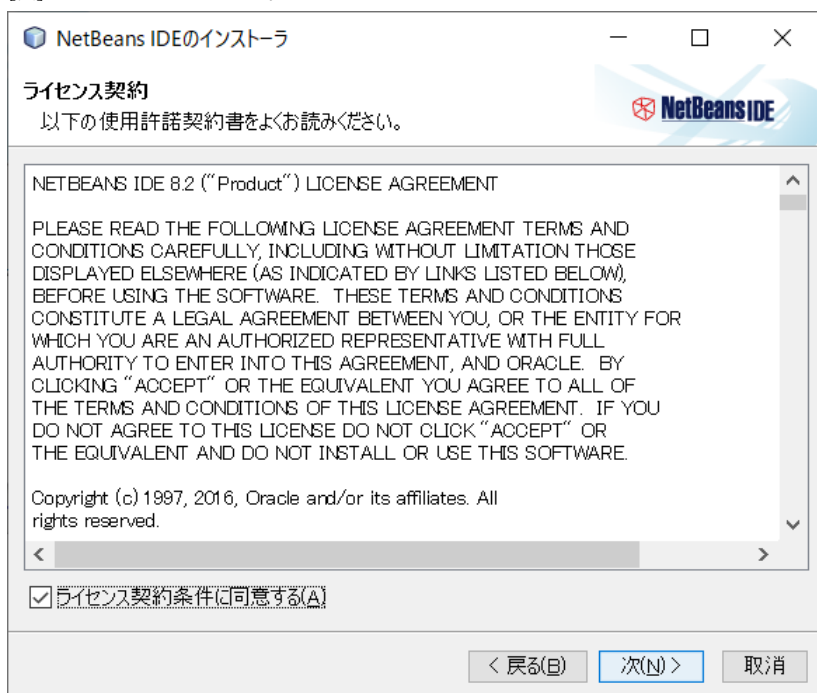
3.2 インストール

netbeans-8.2-windows.exe
ダブルクリック

コメントの追加 [須永1]:



[次] ボタンをクリックします。



チェックを入れて[次] ボタンをクリックします。

NetBeans IDEのインストーラ

NetBeans IDE 8.2のインストール
インストール・フォルダとJDK(tm)を選択します。

NetBeans IDEのインストール先(I):
C:\Program Files\NetBeans 8.2 参照(R)...

NetBeans IDE用のJDK(tm)(J):
C:\Program Files\Java\jdk.8.0.251 ▼ 参照(Q)...

< 戻る(B) 次(N) > 取消

このままでよければ何もしないで[次]ボタンをクリックします。

NetBeans IDEのインストーラ

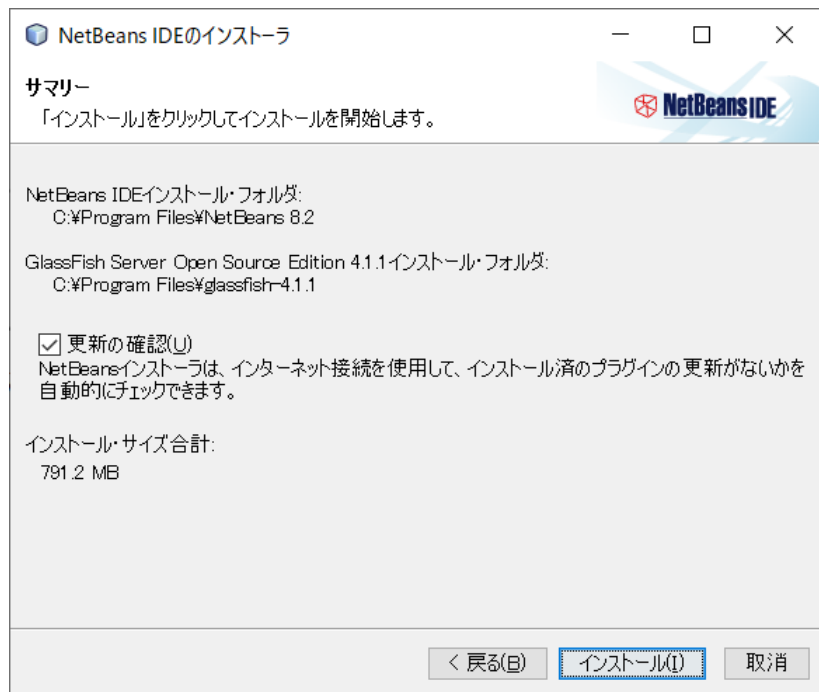
GlassFish 4.1.1のインストール
インストール・フォルダを選択します。

GlassFishのインストール先(I):
C:\Program Files\glassfish-4.1.1 参照(R)...

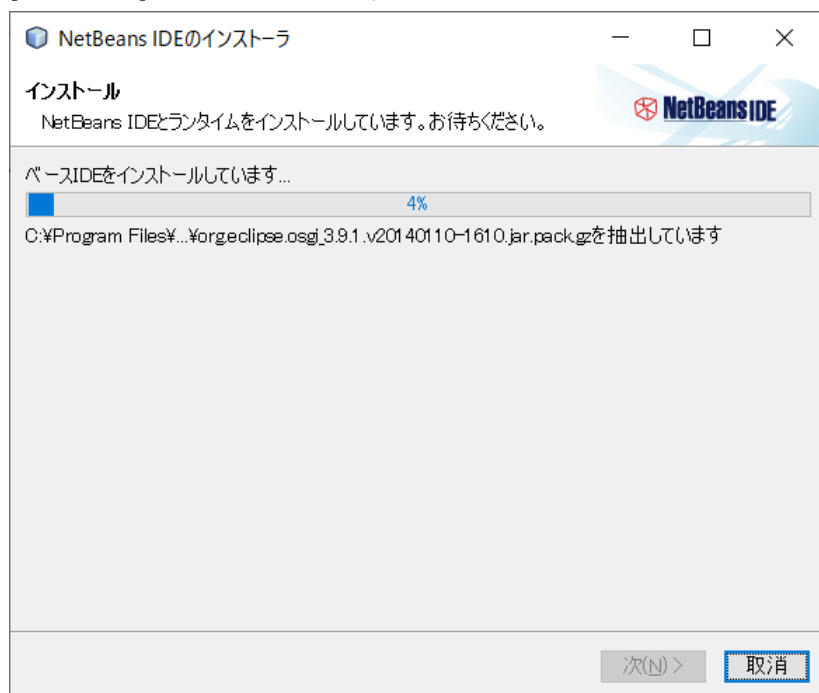
GlassFishアプリケーション・サーバー用のJDK(tm)(J):
C:\Program Files\Java\jdk.8.0.251 ▼ 参照(Q)...

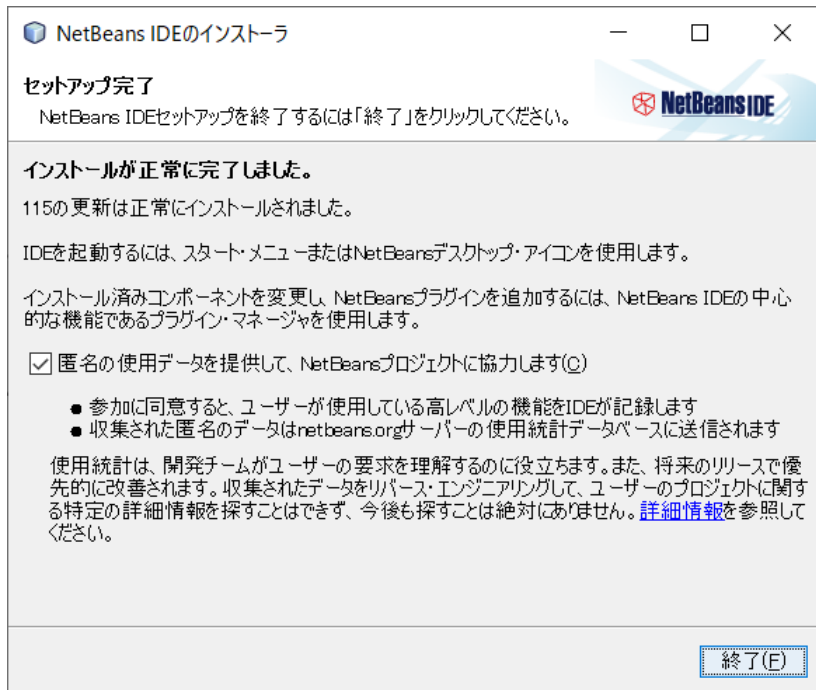
< 戻る(B) 次(N) > 取消

このままでよければ何もしないで[次]ボタンをクリックします。



[インストール]ボタンをクリックします。



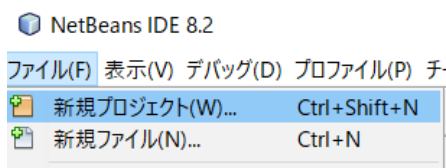


[終了]ボタンをクリックします。

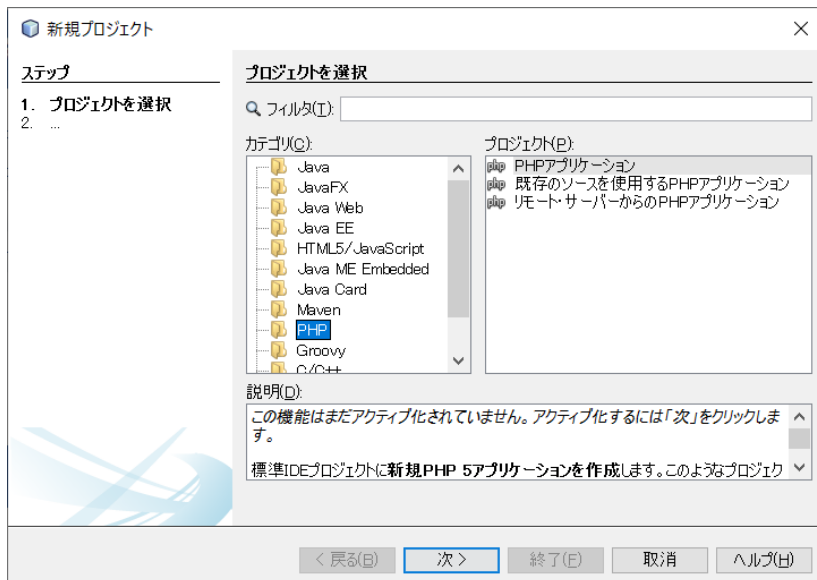
これでインストール終了。

3.3 PHP プロジェクトの新規作成

NetBeans は Visual Studio などと同じく複数のソースファイルから構成されるプロジェクトで管理します。
今は何も作ってない状態なので新規にプロジェクトを作成します。



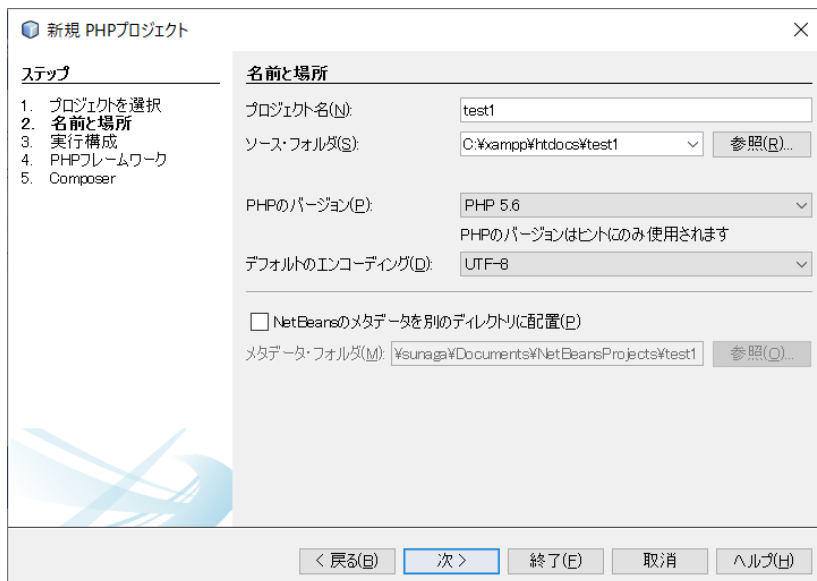
新規プロジェクトをクリック



PHP をクリック

PHP アプリケーションをクリック

[次>] ボタンをクリック



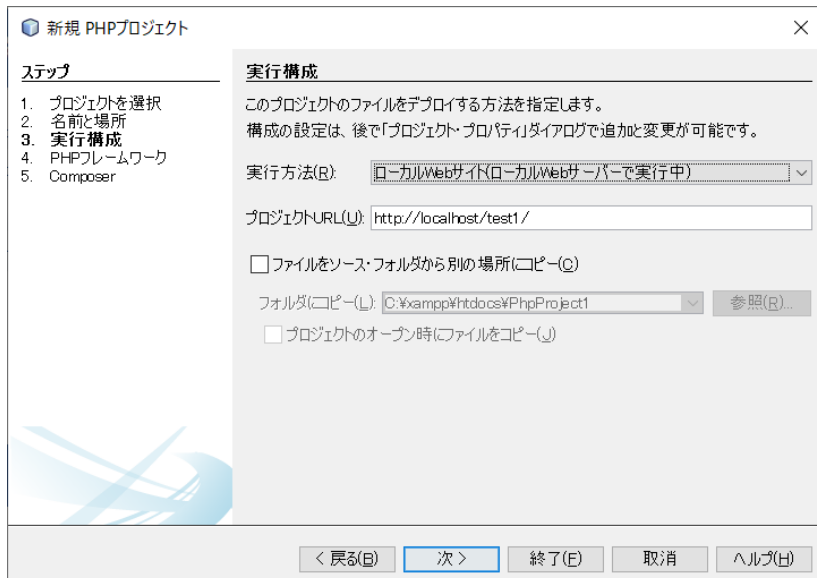
プロジェクト名 : test1

ソースフォルダ : C:\xampp\htdocs\test1

にします。xampp のドキュメントルートは C:\xampp\htdocs です。ブラウザで URL を
http://localhost

にすれば C:\xampp\htdocs\index.html が表示されます。

[次>] ボタンをクリックします。



何も変更しないで[終了] ボタンをクリックします。

3.4 PHP のデバッグ

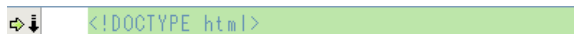
自動で作成された index.php で

```
<?php
echo "PHP world.";
?>
```

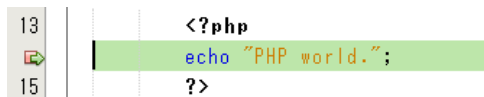
に変更します。ファイルを保存します。echo 行番号を左クリックします。ブレークポイントが設定されます。



最初の行でブレークしています。



をクリックすると実行を再開して echo のところでブレークします。

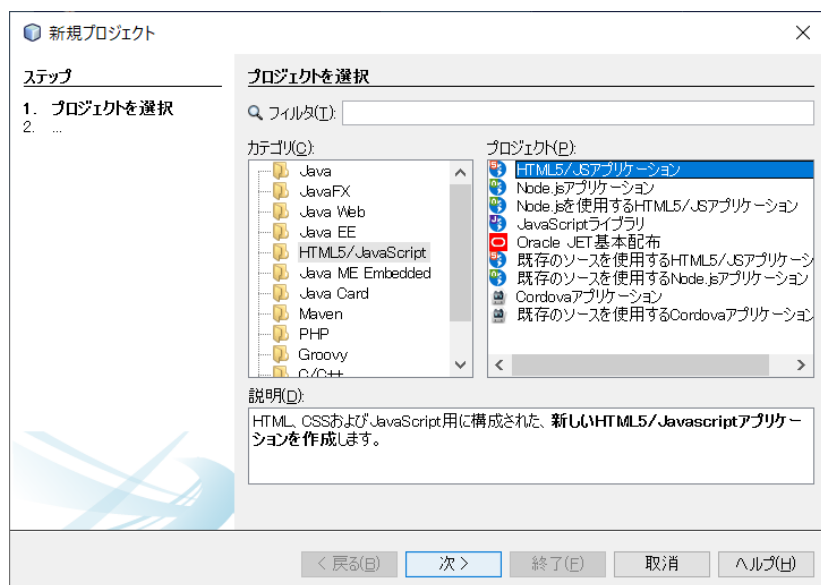


WE-Lite の開発環境ではデバッグ機能がないので大変です。NetBeansのおかげで開発効率が上がります。結果をブラウザで見ると意図した通りになっています。

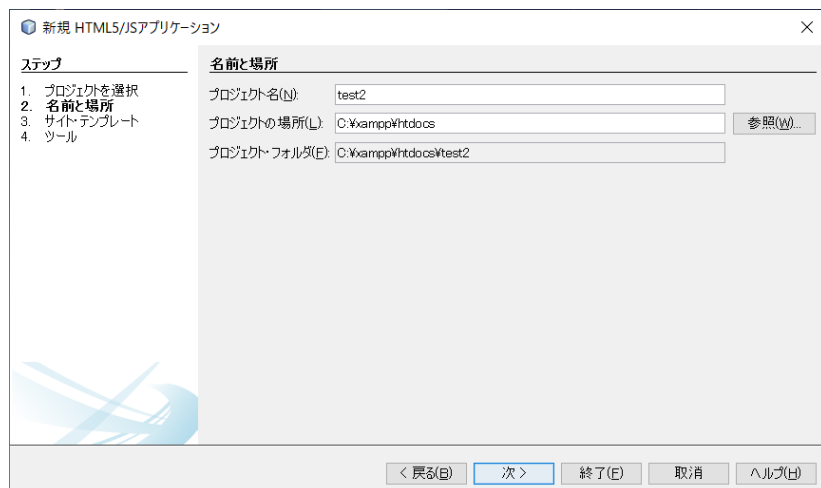


PHP world.

3.5 JavaScript のプロジェクト新規作成



[次>]ボタンをクリックします。

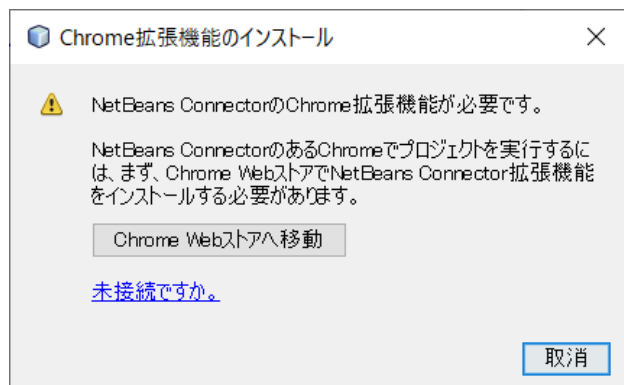


[終了]ボタンをクリックします。

3.6 JavaScript のデバッグ

デバッグボタンが使用不可になっています。

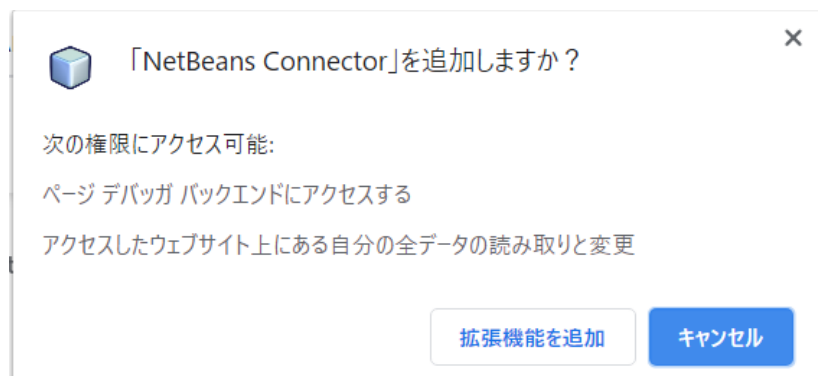
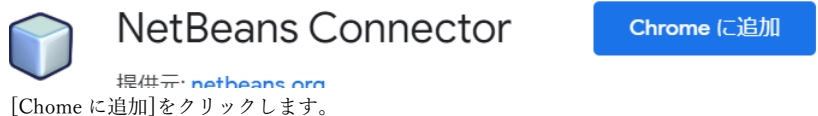
隣の実行ボタンをクリックすると、



[Chrome Web ストアへ移動] ボタンクリック



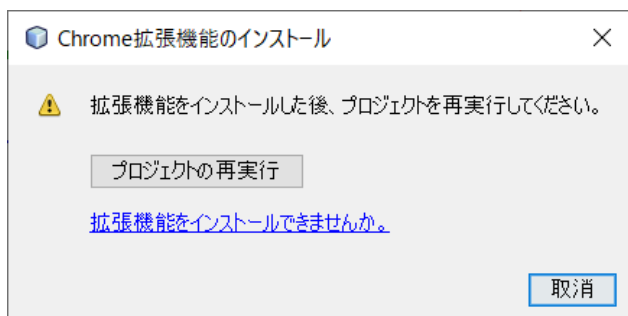
ホーム > 拡張機能 > NetBeans Connector



[拡張機能を追加]をクリックします。



[同期を有効にする]をクリックします。



[プロジェクトの再実行]をクリックします。

これで NetBeans と Chrome の接続ができ JavaScript のデバッグができるようになりました。しかし、状況は変わらずデバッグのボタンが使用不可になっています。

CentOS5 で予約サイトの仕事をしたとき、PHP は快適にデバッグできていました。しかし、JavaScript は NetBeans ではダメ。NetBeans のサイトに上記の記述があったのですが、微妙な違い(?)でできませんでした。理由は拡張機能がインストールできないためです。たぶん、Windows は chrome、Linux は Chromium。プログラム名とアイコンが違います。Ubuntu の最新版でもダメでした。

NetBeans では Javascript はデバッグできない?

できます!

プロジェクトを PHP で作成します。次に html ファイルを追加したとします。

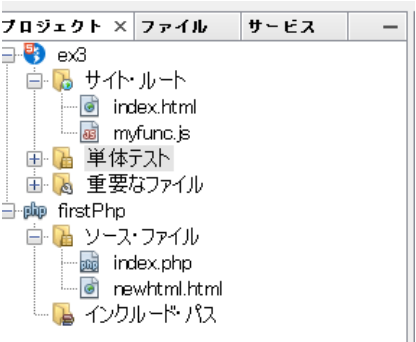
JS : JavaScript

拡張子	php の実行	php のデバッグ	JS の実行	JS のデバッグ
php	○	○	○	X
html	X	X	○	○

html ファイル内で JavaScript は実行できます。

現状では HTML5/JavaScript で作成されたプロジェクトでは JavaScript のデバッグができません。

プロジェクトを比べてみます。



ex3 : HTML5/JavaScript のプロジェクト

firstPhp:PHP のプロジェクト

HTML5/JavaScript のプロジェクトに単体テストのタブがあります。何やらデバッグができそうなイメージがします。

https://netbeans.org/kb/docs/webclient/html5-js-support_ja.html#jstestdriver

設定方法が書いてあります。

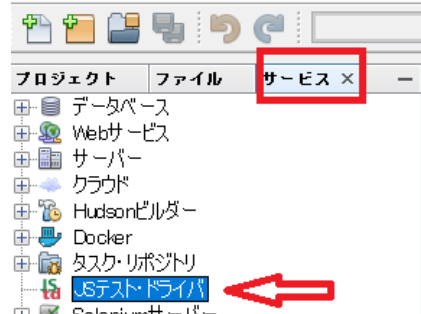
JS テスト・ドライバを使用 2.[ウィンドウ]-[サービス]をクリック。してテストを実行する方法でやってみました。分かりにくいので実際やった操作をもとに記述します。

1.<https://code.google.com/archive/p/js-test-driver/downloads>

JsTestDriver-1.3.5.jar をダウンロードする。

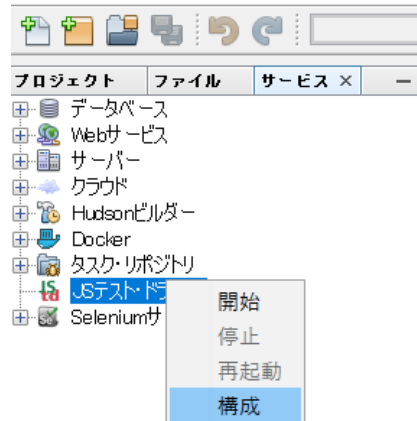
2.[ウィンドウ]-[サービス]をクリック。

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ナビゲート(N) ソー



JSTestDriver を右クリック。

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ナビゲート(N) ソー

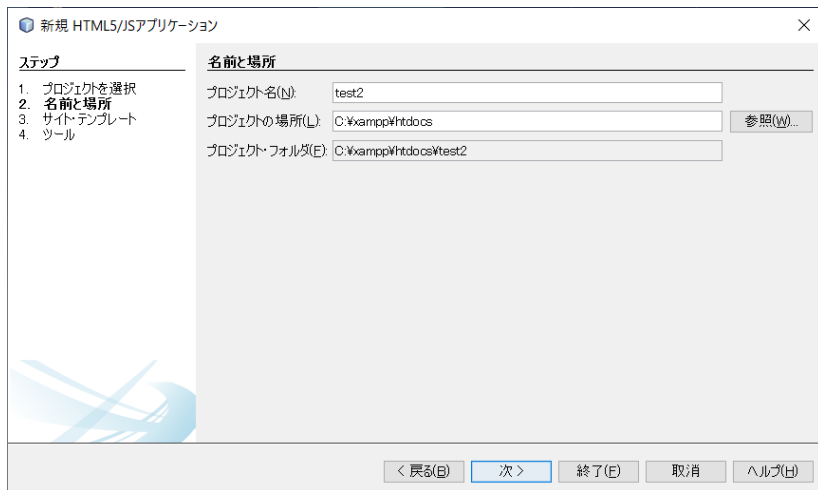
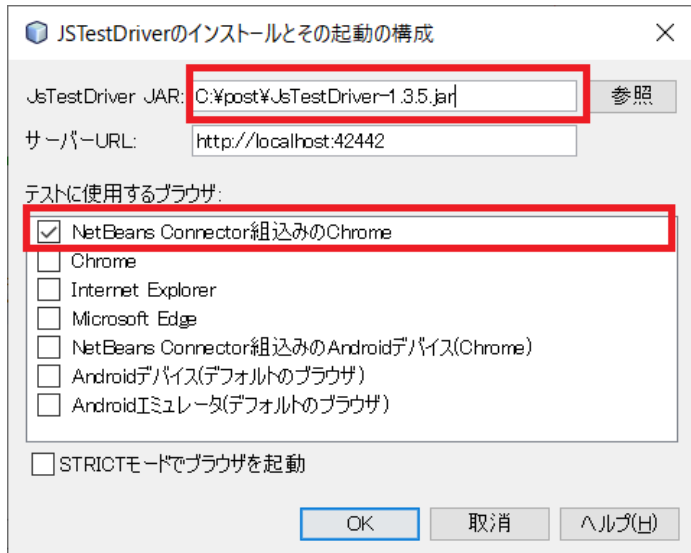


構成をクリック。

3. 「構成」ダイアログ・ボックスで、ダウンロードした JsTestDriver-1.3.5.jar を設定します。

4. ブラウザに NetBeans Connector 組み込みの Chrome をチェックします。

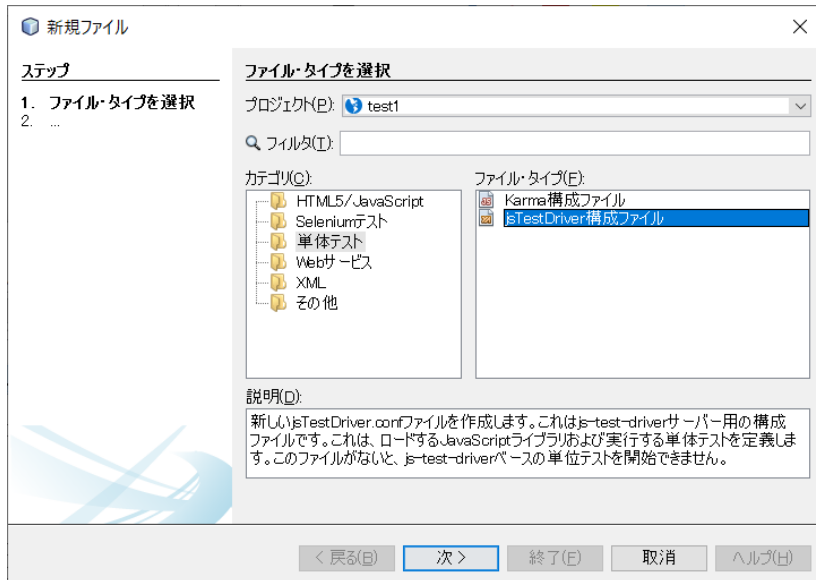
[OK]ボタンをクリックします。



5.プロジェクト」ウィンドウでプロジェクト・ノードを右クリックし、「新規」>「その他」を選択します。

これで JavaScript をデバッグできるようになりました。

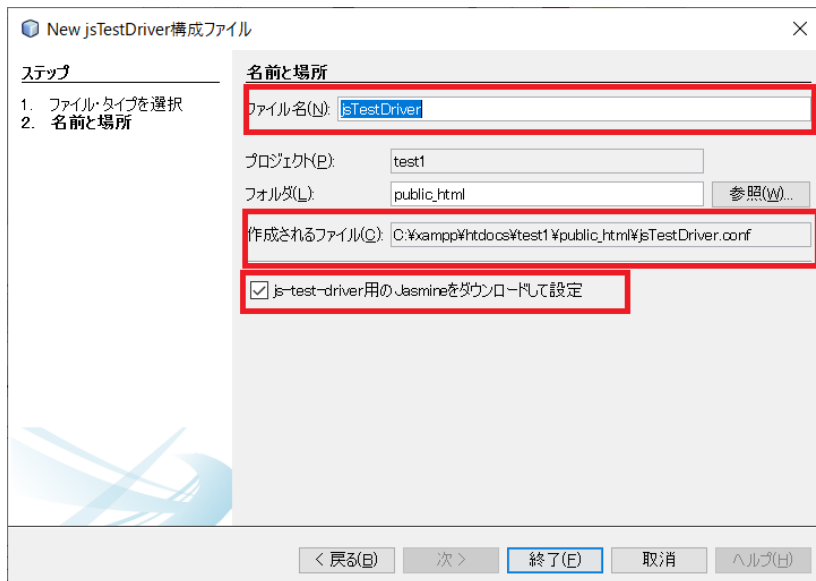
6.「単体テスト」カテゴリで「jsTestDriver 構成ファイル」を選択します。{次>}をクリックします。



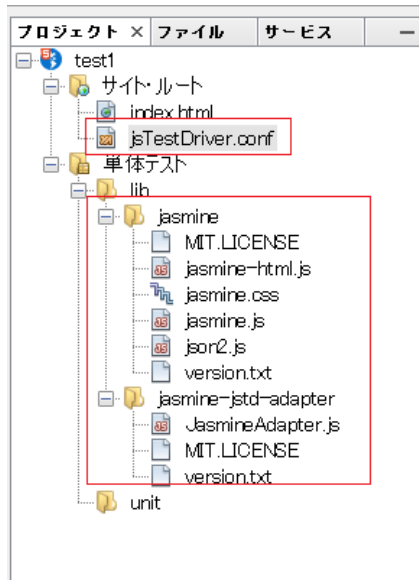
7.jsTestDriver がファイル名であることを確認します。

8.作成されるファイル」フィールドで、ファイルの場所がプロジェクトのフォルダであることを確認します。

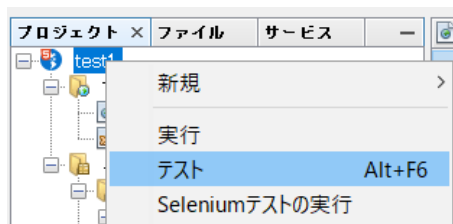
9.Jasmine ライブラリのダウンロードのチェックボックスが選択されていることを確認します。[終了]をクリックします。



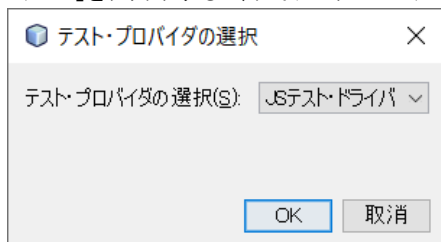
[終了]をクリックすると、IDE によりスケルトン jsTestDriver.conf 構成ファイルが生成され、ファイルがエディタに開かれます。「プロジェクト」ウィンドウで、構成ファイルが「構成ファイル」ノードに作成されたことを確認できます。「単体テスト」ノードの「lib」フォルダを展開すると、Jasmine ライブラリがプロジェクトに追加されたことを確認できます。

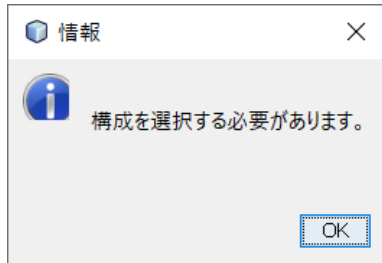


10.構成ファイルの更新後、「プロジェクト」ウィンドウで「プロジェクト」ノードを右クリックして、「テスト」を選択できます。

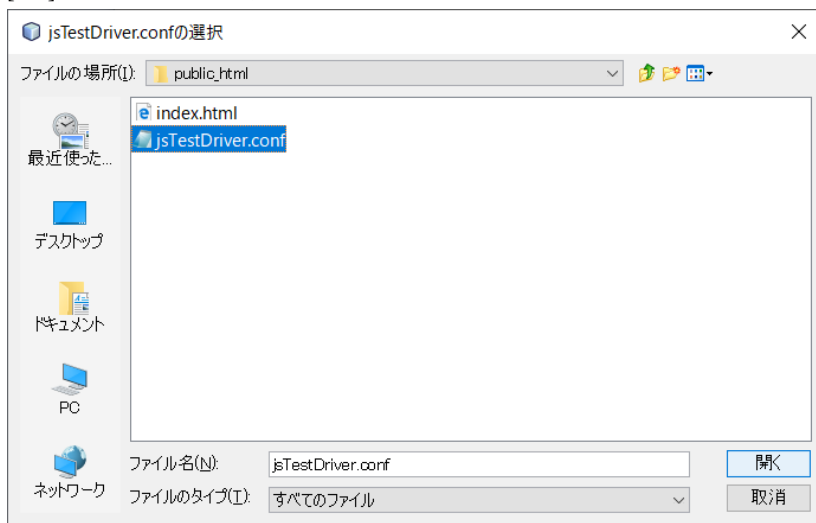


「テスト」をクリックすると、ダイアログでJSテスト・ドライバを選んで[OK]ボタンをクリックします。



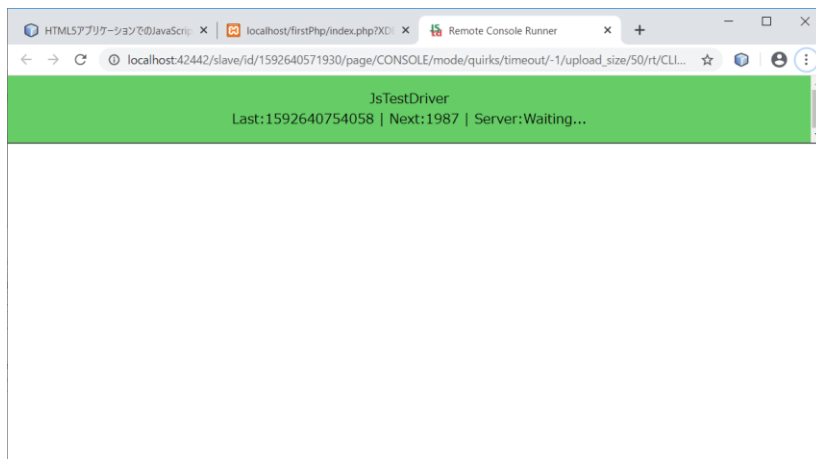


[OK]ボタンをクリックします。



jsTestDriver.conf を選択します。

[開く]ボタンをクリックします。



これで JavaScript のデバッグができます。

デバッグボタンは使用不可のままです。実行ボタンをクリックします。デバッグがはじまり、ブレークポイント

で停止します。index.html のデバッグ例です。

ソース(S) リファクタリング(A) 実行(R) デバッグ(D) プロファイル(P) チーム

